科目区分	専門分野Ⅰ	授業科目	基礎看護学実習Ⅱ
講師名	実習担当者	実務経験の有無	全ての講師が経験有
単位数（時間）	２単位（90 時間）	開講年次	２年次　第１学期

目的：患者及び家族を身体的・心理的・社会的側面から理解し、科学的根拠に基づいて看護過程の展開ができる基礎的能力を養う

目標：１．優先順位をつけて収集した情報を解釈・分析・統合し患者の理解ができる。
２．看護の必要性を判断し看護上の問題を明確化することができる
３．患者及び家族の看護問題に応じた看護計画が立案できる
４．看護計画に基づき、患者及び家族の状況に応じた看護実践ができる
５．実施した看護を振り返り、評価ができる
６．専門用語を用いて記録・報告ができる
７．相手を尊重する態度を身につける
８．自己研鑽し、自主的に学習する姿勢を身につける

授　業　内　容

１．看護過程展開の技術
１）情報収集
⑴　情報源
⑵　情報収集の方法
⑶　データベースの活用

２）情報の解釈・分析、看護の必要性
⑴　主観的データ（S）と客観的データ（O）のクラスター化
⑵　対象の理解
①　発達段階と発達課題の把握
②　疾患・症状の理解と病状・治療経過の把握
③　治療に伴う療養生活の制約と変化に伴う対象の思いの把握
④　入院前の生活習慣の把握
⑶　情報・検査データの正常・異常の分析と健康逸脱の有無の把握
⑷　関連因子と看護の必要性の抽出
⑸　アセスメント構造図を用いて各カテゴリー間の個別関連情報と病態関連図とを統合
⑹　看護問題の明確化と優先順位の判断

３）看護計画の立案・実施・評価
⑴　長期目標と短期目標の設定
⑵　具体的な観察計画（OP）・ケア計画（CP）・指導計画（EP）の立案
⑶　看護計画に基づいた、安全・安楽・自立性を考慮した援助の実施
⑷　実施後の評価と計画の追加・修正
⑸　目標達成度の評価

授業方法	臨地実習	授業場所	岩国医療センター、広島西医療センター
評価方法	＊以下の内容を実習評価表（100 点）に沿って評価を行う 患者理解・看護実践・実習態度・出席状況、実習レポート		
備　　考	関連科目で用いたテキストを活用する。実習要項で提示された事前学習をする。 【関連科目】 病態生理学Ⅰ～Ⅷ、薬理学、健康行動論Ⅰ・Ⅱ、看護学概論、基本技術Ⅰ・Ⅱ、 生体機能管理技術、日常生活援助技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、診療の補助技術Ⅰ・Ⅱ、老年援看護学演習、 看護の統合と実践Ⅰ		